



明野

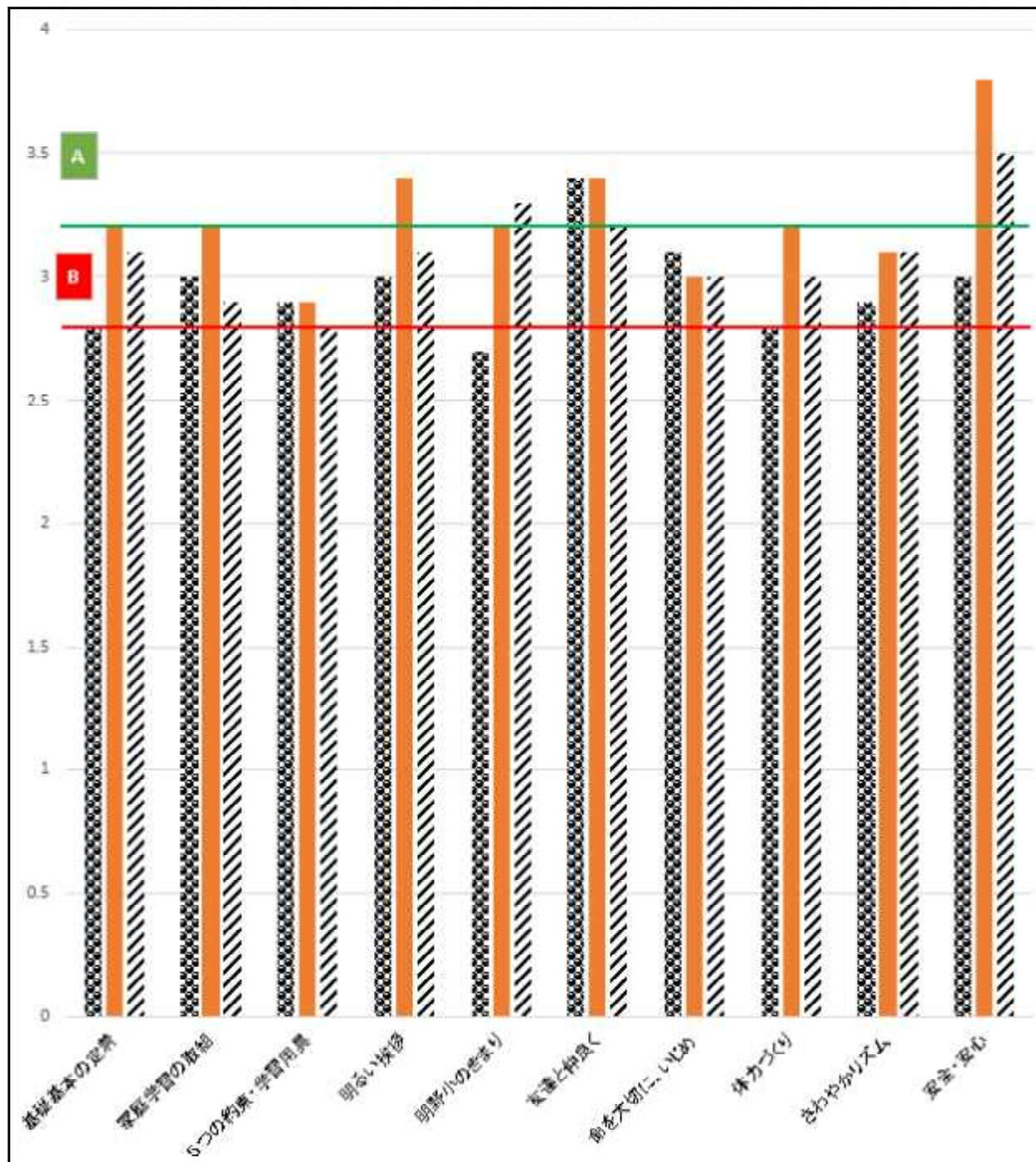
学校通信

第14号

平成27年3月12日

平成26年度 3つの重点 学校力の向上・家庭との連携・地域力の活用

平成26年度 学校評価 学校・児童・保護者 共通項目



グラフの見方 学校 (左側) 児童 (中央) 保護者 (右側)
 4点中 A80%以上 B70%以上

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。今回は322人の方から回答をいただき、回答率は83%でした。自由記述欄にも貴重なご意見等たくさんいただき、ありがとうございました。今後の教育活動の参考にして参りたいと考えております。

質問項目(児童の場合)

- ①音読・漢字や作文・計算の力をつけることができた。
- ②家では、家庭学習や宿題をきちんとしている。
- ③学習用具の準備ができ、「5つの約束」が身に付いた。
- ④元気な挨拶ができる。
- ⑤廊下歩行やチャイムなど、きまりを守った生活ができる。
- ⑥友達と仲良く、協力してすごすことができる。
- ⑦困ったり悩んだりしたときは、先生や友達、親に相談している。
- ⑧めあてに向かって体力づくりに取り組んでいる。
- ⑨さわやかな朝の生活(自分でおきる・朝食・トイレ)を送ることができた。
- ⑩交通事故や自転車の乗り方に気を付け、へんな人のさそいにのらないようにしている。

学校・児童・保護者によるアンケート結果及びご意見等をふまえた今後の改善策



- ・基礎基本の定着を目指した授業づくり
- ・学習用具、「5つの約束」などの指導の継続。
- ・行事の見直しや日課の検討
- ・家庭学習への取組の充実(全校的な取組)



- ・挨拶の習慣や廊下歩行など全校的な取組の継続。
- ・目的意識をはっきりさせたリングプル回収。
- ・集団下校や一斉下校 安全安心、確実な方法
- ・メール配信の活用
- ・道徳の時間の授業内容の改善。

緊急時における安全安心な対応を見直しています。メール配信の効果的な活用にも一歩進めたいと考えています。



- ・継続的な体力づくりの取組。
- ・さわやかな生活が送られるよう全校的な取組を充実させる。
- ・子どもが安心できる環境づくり。自転車の乗り方の指導。
(保護者へ 児童ヘルメット着用の啓蒙など)



自転車「安全利用5則」

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用

子供はヘルメットを着用

自転車については、意識が低いと考えます。大きな事故にならないようにするため対策が必要です。自転車に乗るときは、子供はヘルメット着用が基本です。学校では、子供自身が自分の身体を守れるよう、取組を始めます。詳しくは、13日発行の「ひろば」をお読みください。